

【誌上発表】

<2020年度>

田中元規：自主トレーニング指導書作成システム「パットレ！」を活用した2症例. Japanese Journal of Comprehensive Rehabilitation Science (JJCRS) : 11,2020	理学療法士
竹本也美：介護予防・日常生活支援総合事業でMTDLPを使用し外出機会が増加した一症例.愛知作業療法28 : 31-35, 2020	作業療法士
Takashi Hoshino : Relationship between lower limb function and functional connectivity assessed by EEG among motor-related areas after stroke. Topics in Stroke Rehabilitation. 2020 Dec 22;1-10. doi: 10.1080/10749357.2020.1864986.	理学療法士

<2021年度>

後藤進一郎,田中元規,小口和代(監修) : Excelで効率化！リハビリテーション自主トレーニング指導パットレ！Pro. 医歯薬出版株式会社	作業療法士,理学療法士
星野高志：当院回復期リハビリテーション病棟における脳損傷者の移乗・トイレ動作・歩行の自立判定プロセスと自立後の転倒. 理学療法学 48(4):432-439,2021	理学療法士
永田健太郎：急性期脳卒中患者に対してウェルウォークWW-1000 を用いて歩行練習を行った1症例 ― 効果と開始時期の検討 ―. 愛知県理学療法学会誌 33(1):68-75,2021	理学療法士
相馬孝広：腰部脊柱管狭窄症症例に対し徒手理学療法を行った1例. 運動器徒手理学療法7(1):12-15,2021	理学療法士
河野純子：エビデンスを参照した慢性閉塞性肺疾患患者に対する理学療法の考え方と進め方. 理学療法38巻(7):p.604-611,2021	理学療法士
Sachiyo Hota : Outcome of Dysphagia Following Stroke : Factors Influencing Oral Intake at 6 Months After Onset. Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases,Vol.30,No.9,2021:105971	言語聴覚士
保田祥代：1.脳血管疾患に対する嚥下反射促進法のコツ. 臨床リハ30(11):1093-1097,2021	言語聴覚士
保田祥代：2.脳血管疾患に対する舌根後退訓練. 臨床リハ30(12):1189-1193,2021	言語聴覚士
保田祥代：3.脳血管疾患に対する顎引き嚥下のコツ. 臨床リハ30(14):1430-1435,2021	言語聴覚士
保田祥代：4.脳血管疾患に対する息こらえ嚥下法のコツ. 臨床リハ31(1):6-10,2022	言語聴覚士
保田祥代：5.脳血管疾患に対する頭部挙上訓練のコツ. 臨床リハ31(2):102-107,2022	言語聴覚士
保田祥代：6.神経疾患に対するメンデルソン手技のコツ. 臨床リハ31(3):192-197,2022	言語聴覚士

<2022年度>

星野高志：回復期片麻痺患者の病棟内杖歩行自立の客観的指標による判定基準 ―決定木分析を用いた検討―. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 59(8),836-846,2022	理学療法士
星野高志：歩行自立に向けた多職種連携の取り組み. 理学療法ジャーナル; 56(11): 1281-1289,2022	理学療法士
河野純子：肺疾患患者の緩和ケアにおける理学療法士の役割. 理学療法 ; 39(5) : 419-425,2022	理学療法士
河野純子：分からないと言える勇気と雰囲気. 理学療法ジャーナル; 56(8): 881,2022	理学療法士
保田祥代：7.神経筋疾患に対する舌尖挙上訓練のコツ. 臨床リハ31(5):400-405,2022	言語聴覚士
保田祥代：8.神経筋疾患に対する頸部回旋のコツ. 臨床リハ31(6):498-503,2022	言語聴覚士
保田祥代：9.高齢者の誤嚥性肺炎に対する舌背挙上訓練のコツ. 臨床リハ31(7):732-737,2022	言語聴覚士
竹内千尋：10.COPDを合併した誤嚥性肺炎に対する呼吸訓練のコツ. 臨床リハ31(8):,2022	言語聴覚士
保田祥代：11.頭頸部がんに対する咀嚼訓練のコツ. 臨床リハ31(9),2022	言語聴覚士
保田祥代：12.頭頸部がんに対する前舌保持嚥下訓練のコツ. 臨床リハ31(10),2022	言語聴覚士
保田祥代：13.認知症に対する食支援のコツ. 臨床リハ31(11),2022	言語聴覚士
保田祥代：14.終末期に対する食支援のコツ. 臨床リハ31(12),2022	言語聴覚士

【学会発表】

<2020年度>

演題名	職種	主演者	発表学会
脳卒中ドライバーのスクリーニング評価（SDSA）とMMSE-J・TMT-Jの関連性の検討	作業療法士	渡邊郁人	第28回愛知県作業療法学会
急性期病院における誤嚥性肺炎患者の入退院支援	言語聴覚士	保田祥代	第22回日本医療マネジメント学会学術集会
回復期心臓リハビリテーションにおける運動耐容能改善に関与する因子の検討	理学療法士	西脇一誠	第26回日本心臓リハビリテーション学会
ADL維持向上等体制加算算定3病棟におけるADL低下患者の特徴	理学療法士	小沢将臣	第57回日本リハビリテーション医学会学術集会
急性期脳卒中中の摂食嚥下障害の診断評価とリハビリテーション介入：摂食嚥下障害のリハビリテーション-訓練とチームアプローチ	言語聴覚士	保田祥代	STROKE2020
急性期脳卒中患者に対してウェルウォークを用いた歩行練習を行った1症例-効果と開始時期の妥当性-	理学療法士	永田健太郎	第29回愛知県理学療法学会
当院におけるmodified constrain induced movement therapy (modified CI療法) 適応基準の再考	作業療法士	清水雅裕	第54回日本作業療法学会
自動車運転支援プログラムによる運転の断念が症例の生活に与える影響～生活期通所リハ利用者一例を通して	作業療法士	小木曾涼介	第54回日本作業療法学会
訪問型サービスCによる地域高齢者のIADLと生活空間の変化	作業療法士	宗像沙千子	第54回日本作業療法学会
腰部脊柱管狭窄症症例に対し徒手理学療法を行った1例	理学療法士	相馬孝広	第7回日本運動器徒手理学療法学会学術集会
脊椎圧迫骨折に対するBalloon kyphoplasty後の在院日数に影響を与える因子の検討	理学療法士	植松大喜	第4回リハビリテーション医学会秋季学術集会
当院ICU入室患者におけるリハビリテーション実施群と非実施群の特徴	理学療法士	山口智恵子	第4回リハビリテーション医学会秋季学術集会
回復期リハビリテーション病棟における脳損傷者の移乗・トイレ動作の自立判定と自立後の転倒	理学療法士	星野高志	第4回リハビリテーション医学会秋季学術集会
回復期リハビリテーション病棟における脳損傷者の歩行自立判定と自立後の転倒	理学療法士	木戸哲平	第4回リハビリテーション医学会秋季学術集会
転倒転落予防にむけたチーム活動報告	理学療法士	山口裕一	第15回医療の質・安全学会学術集会
安静時および運動時のfunctional connectivityの変化による脳卒中後の上肢機能の予後予測	理学療法士	星野高志	第18回日本神経理学療法学会学術大会
外科周術期における病棟専従療法士アルゴリズムの検討～がん患者の特徴～	理学療法士	高津志歩	第9回日本がんリハビリテーション研究会
急性期病院における誤嚥性肺炎患者の実態調査3～栄養評価を含めた検討～	言語聴覚士	近藤知子	第44回日本嚥下医学会学術大会

<2021年度>

演題名	職種	主演者	発表学会
心臓リハビリテーション室の急変時対応の見直し～CPX施行中に心停止した事例を通して～	理学療法士	西脇一誠	第27回日本心臓リハビリテーション学会
CPX施行中に心停止した事例	理学療法士	浅井なぎさ	第27回日本心臓リハビリテーション学会
当院における嚥下回診の4年間の動向	言語聴覚士	保田祥代	第26・27回日本摂食嚥下リハビリテーション学会
回復期リハビリテーション病棟における転倒件数の変化に関する後ろ視的分析	理学療法士	小笠原沙映	第8回日本転倒予防学会
回復期リハビリテーション病棟における多職種での歩行自立判定プロセス標準化の効果～脳卒中での検討～The effect of the process to judge walking independence for stroke patients in rehabilitation ward	理学療法士	星野高志	第8回日本転倒予防学会
回復期リハビリテーション病棟における移乗自立プロセス標準化の効果～脳卒中での検討～	理学療法士	伊藤正典	第8回日本転倒予防学会
短時間通所リハビリテーションを利用し健康増進施設を併用後に終了した運動機能障害を有する心不全1症例	理学療法士	田中英俊	第37回東海北陸理学療法学会学術大会
脊椎圧迫骨折に対するBalloon kyphoplasty後における立位バランス能力と各種因子との関連性	理学療法士	植松大喜	第5回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
急性期病院における誤嚥性肺炎の実態②～退院後帰結調査～	言語聴覚士	保田祥代	第5回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
医療安全管理者による新たな院内ラウンドの試み	理学療法士	山口裕一	第16回医療の質・安全学会学術集会
ウェルウォーク練習後の平地歩行FIMS到達および未達患者の特徴	理学療法士	伊藤正典	第19回日本神経理学療法学会学術集会
回復期脳卒中片麻痺患者における病棟内杖歩行自立に必要な運動・認知機能のカットオフ値	理学療法士	星野高志	第19回日本神経理学療法学会学術集会
modified CI療法で麻痺側空間や麻痺手の認識が向上した一症例	作業療法士	岡部宗祐	回復期リハビリテーション病棟協会 第39回研究大会
退院後リハビリテーション継続により機能回復した若年性脳血管障害症例	理学療法士	萬圭太	回復期リハビリテーション病棟協会 第39回研究大会
外来理学療法および多職種連携によって自己管理を促すことができた重度下肢リハ浮腫の一例	理学療法士	高津志歩	第5回日本リハ浮腫学術集会
当院ICUにおける早期離床リハビリ加算対象患者の特徴	理学療法士	春日井万穂	第49回日本集中治療医学会学術集会

<2022年度>

演題名	職種	主演者	発表学会
橈骨遠位端骨折術後のリハ期間とAO分類・浮腫・関節可動域の関係	作業療法士	後藤進一郎	第34回日本ハンドセラピー学会
特別支援学校との連携事業の効果と今後の課題	理学療法士	仲村我花奈	第30回愛知県理学療法学会学術集会
当院における短時間通所リハビリテーションの特徴	作業療法士	佐々木里菜	第30回愛知県作業療法学会学術集会
高次脳機能障害患者に行った入院中のmodified CI療法の自宅での効果の持続	作業療法士	岡部宗祐	第30回愛知県作業療法学会学術集会
開心術後患者における退院時の6分間歩行距離に影響を与える因子の検討	理学療法士	西脇一誠	第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会
電気式人工喉頭の使用を経て気管カニューレ抜去に至った1症例	言語聴覚士	山口紀美子	第16回愛知県言語聴覚士会学術集会
回復期リハビリテーション病棟における肥満患者に対する多職種チームの栄養介入後の変化	言語聴覚士	前田さやか	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会
臨床倫理カンファレンスにおける療法士の役割	言語聴覚士	保田祥代	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会
橈骨遠位端骨折術後のリハビリテーション頻度と浮腫・ROM・期間の検討	作業療法士	後藤進一郎	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会
回復期片麻痺患者の病棟内杖歩行自立判定における客観的指標 ～決定木分析を用いた検討～	理学療法士	星野高志	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会
集中リハビリテーションにより呼吸機能が改善した慢性期頸髄損傷の一例	理学療法士	伊藤正典	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会
当院の地域包括ケア病床の患者特性と疾患別リハビリテーション実施状況	理学療法士	田中元規	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会
当院地域包括ケア病床における患者特性 ～歩行能力と退床先に着目して～	理学療法士	相馬孝広	第8回地域包括ケア病棟研究大会
地域包括ケア病床における疾患別リハビリテーションと代替リハビリテーションの比較	作業療法士	太田有人	第8回地域包括ケア病棟研究大会
若年性脳血管障害に対するmodified CI療法の実践と効果	作業療法士	清水雅裕	第56回日本作業療法学会学術集会
脳卒中ドライバーのスクリーニング評価と注意機能検査（TMT-J、SDMT）の関連性の検討	作業療法士	渡邊郁人	第56回日本作業療法学会学術集会
脳幹梗塞と頸髄損傷の合併により重度嚥下障害を呈した一症例 ～急性期から在宅までの関わりを通して～	言語聴覚士	桐木文咲	第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会
摂食嚥下機能評価としてのスプーン誘発嚥下テストの検討① ～急性期病院での試行～	言語聴覚士	大竹綾香	第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会
摂食嚥下機能評価としてのスプーン誘発嚥下テストの検討② ～介護保険施設での試行～	言語聴覚士	保田祥代	第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会
回復期片麻痺患者病棟内歩行自立時におけるMini-BESTestの有用性の検討	理学療法士	伊藤正典	第20回日本神経理学療法学会学術大会
回復期片麻痺患者の病棟内杖歩行自立の決定木による判定基準 ～外的妥当性の検証～	理学療法士	星野高志	第20回日本神経理学療法学会学術大会
ストーマ閉鎖に伴い栄養状態が改善し杖なし歩行が自立した大腿切断の一症例	理学療法士	植松大喜	第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
肺血栓塞栓症予防に向けた当院の取り組み	理学療法士	山口裕一	第17回医療の質安全学会学術集会
ICU入室患者における補助循環装置装着患者に対するリハビリテーション介入の検討	理学療法士	高津志歩	第50回日本集中治療医学会学術集会
摂食不良に対し経鼻経管栄養併用で栄養強化した嚥下機能良好な2症例	言語聴覚士	前田さやか	回復期リハビリテーション病棟協会 第41回研究大会
回復期脳卒中片麻痺患者の歩行自立後の転倒 ～決定木分析によるグループごとの特徴～	理学療法士	星野高志	回復期リハビリテーション病棟協会 第41回研究大会